

第352回定例会一般質問発言通告一覧

(第3日・9月10日 個人質問)

15番 北本 節代 <一問一答>

- 1 市長2期目の市政への取り組みについて
 - (1) 第5次総合計画と100のプロジェクトについて。
- 2 成熟社会に相応しいコミュニティ施設の支援について
 - (1) 本庄文化センターの現状を踏まえた今後の地域コミュニティ施設への支援のあり方について。
- 3 野外焼却の減少と農作業の省力化について
 - (1) 市民からの通報について。
 - (2) サンプル調査について。
 - (3) 農業者の理解を得る方策について。
- 4 三田市地域公共交通網形成計画の推進について
 - (1) 新たな地域内交通の導入について。

21番 國永 紀子 <一問一答>

- 1 野焼き問題について
 - (1) 農業者が安心して農業が続けられるための抜本的な解決を図ることについて。
 - (ア) 農業を営む上で畔の草を焼くことの効能は害虫の駆除、畔の管理など欠かせない農作業の一環であることを踏まえて、市として非農家との相互理解が得られるような粘り強い取り組みが必要と考えるが市の見解を問う。
 - (イ) 2地区で開始されている「サンプル調査」について市の考え方を問う。
 - ・今後の方向は、地元との協議で決めていくとのことだが、市として野焼き問題の抜本的解決との認識なのか見解を問う。
 - ・クリーンセンターへ持ち込むことによる焼却炉の影響について見解を問う。
 - (ウ) この問題に関しての周辺自治体の取り組みについて問う。
 - (2) 公道等に面するのり面の対策について問う。
- 2 交通不便地域の早期解消に向けて
 - (1) 三田市地域公共交通網形成計画では、地域特性に見合った地域内交通の導入が謳われているが、各地域それぞれ実情が違う中で、広野地域で地域協議会が立ち上がるなど明るい方向がみえている。次の地域につなげていくために市としての見解を問う。
 - (2) 三田市地域公共交通網形成計画では、お出かけサポートをはじめ、ボランティア、有償運送などが盛り込まれているが、事故発生時等の責任が個人にいかないよう、市が運転業務を委託するなど責任の所在を明確にするべきと考えるが市の見解を問う。
- 3 中学校統廃合問題について
 - (1) 上野台中学校、八景中学校区では概ね理解を得たとしているが、子どもも含めきめ細かく意見を聞くことについての見解を問う。
 - (2) 八景中学校は今後もさらに生徒数の増加が予測される中、あえてマンモス校にすることが、子どもの学ぶ環境にとってデメリットの方が大きいのではないのか、市の見解を問う。

- (3) 上野台中学校の地域から、校区変更の意見も出ていたが市の見解を問う。
- (4) 地域での議論が不十分な中で、統合ありきの協議会は立ち上げるべきではないと考えるが市の見解を問う。

16番 美藤 和広 <一問一答>

- 1 急激な高齢社会に向けた健康年齢の延長について
 - (1) いきいきマイレージと元気な高齢者事業。
 - (2) 健康スケールの導入。
 - (3) まちぐるみで支える認知症対策。
- 2 市民参加で持続可能なまちづくりについて
 - (1) 市民提案制度と成果に対する報奨制度。
 - (2) ママが活躍できるまち・三田。
 - (3) 資格制度にし、市民が講師になる制度。
- 3 テクノパークを中心とした産業活性化について
 - (1) テクノパーク通勤時渋滞の解消。
 - (2) テクノパーク駅の意義。
- 4 安心・安全な交通について
 - (1) 公共交通と市の連携。
 - (2) 自転車レーンをどう考えるか。

2番 中田 哲 <一問一答>

- 1 人材の確保・育成について
 - (1) IT技術やAI技術など高度なテクノロジー分野に精通した人材の確保と育成について。
 - (2) 障害者の採用について。
- 2 認知症高齢者対策について
 - (1) 認知症患者徘徊時の賠償責任保険加入支援について。
 - (2) 成年後見業務支援の状況について。
- 3 音楽を活かしたまちづくりについて
 - (1) 三田音頭、新三田音頭の普及について。
 - (2) 市内で開催される、『ONE MUSIC CAMP』が若者を中心に大きな反響を呼んでいる。この企画が持つ『自然と音楽の魅力を融合させる。』というコンセプトを、三田市の観光施策やシティセールス、市民参画イベントに活かさないか。
- 4 障害者の住まいの課題について
 - (1) 障害者の入所施設及びグループホームの状況について。

20番 平野 菅子 <一問一答>

- 1 三田市民病院の現状と今後について
 - (1) 30年度決算見込み概要によると約1億4千万円の黒字とあるが、資本的収支を含めた実際のキャッシュフローの状況と今後の見通しについて。
 - (2) 市民病院改革プランが策定され、その後審議会からの答申も受け6か月以上が経過した。現時点の状況と今後の市民病院改革の進め方について伺う。

2 性的マイノリティの理解促進について

- (1) パートナーシップ制度の導入について。
- (2) 職員・学校教職員のためのハンドブック作成について。
- (3) 学校現場での児童・生徒に性的マイノリティへの理解を深める取り組みについて。
- (4) 性的マイノリティに配慮した避難所での環境整備と公共施設のトイレの配慮について。

3 障害者の雇用促進について

- (1) 知的、精神障害者採用の具体的な取り組みについて。
- (2) 精神・発達障害者しごとサポーター養成講座受講の取り組み状況とその活用について。

4 子育て支援の拡充について

- (1) 新生児聴覚検査の助成拡充について。
- (2) 母子健康手帳のアプリ導入について。

7番 佐々木 智文 <一問一答>

1 三田市における広報のあり方について

- (1) 今後どのように取り組んでいくのか。

2 広報戦略・産業創造・女性活躍アドバイザーの設置について

- (1) 今後の具体的なスケジュール等について。
- (2) 「三田市特定事業主行動計画」における女性消防士の今後の展望について。

3 三田市のシティセールスに繋がる事業について

- (1) スポーツ活動等の合宿誘致。
- (2) 草刈りアートの開催。

4番 白井 和弥 <一問一答>

1 公共施設マネジメントについて

- (1) 個別施設計画について。
- (2) 地域イニシアチブ制度について。
- (3) 施設の収益化について。

2 まちづくり協議会の今後について

- (1) 認知度向上に向けた取り組みについて。
- (2) 地域計画について。
- (3) 包括的な交付金制度について。

3 制度見直しによる予算の有効活用について

- (1) 市単独土地改良事業について。